

言語聴覚療法における バイオフィードバック訓練 —正確で効果的な運動訓練を目指して—

講師 柴本 勇先生(聖隷クリストファー大学)

嚥下障害や運動障害性構音障害のリハビリテーションでは運動訓練を行います。その運動は、口唇運動、下顎運動、舌運動、軟口蓋の運動、披裂運動、喉頭運動、呼吸運動など多岐にわたり、分離運動や巧緻運動など高度なレベルの運動が求められます。また同時に、発話であっても嚥下であっても、リハビリテーションでは代償的な運動や動作の獲得という視点をもつことが必要となります。その際重要となるのが運動学習です。運動学習を効果的に行うには、正確な運動ができているかや求められる運動となっているかを自身で確認しながら獲得することが重要です。しかし、言語聴覚士が扱う口腔顔面、頸部、胸部は表面的な観察に留められているのが実情です。本セミナーでは、正確な運動や新たな運動を学習するために、生体運動を可視化しながら訓練を行う表面筋電バイオフィードバック訓練について、実演とともに解説します。尚、表面筋電バイオフィードバック訓練については、第46回日本嚥下医学会のシンポジウム「新しい訓練手技」でも取り上げられます。日頃の運動訓練を効果的に行えるよう、ぜひご参加ください。

2023

3/19(日)

13:00~15:30

<オンライン開催>

■ 対象
言語聴覚士 ほか

■ 定員
250名

■ 申込方法
当研究会ホームページまたは
左記のQRコードから
お申し込みください。

■ 参加費
当研究会会員 無料
非会員 3,000円

※会員として参加される場合、
3/3(金)までに入会手続きを
お済ませください。

■ 申込締切
2023年3月13日(月)
定員になり次第締切ります

